

## 山縣市再生可能エネルギー地産地消モデル形成に係るサウンディング型市場調査 実施結果について

### 1. サウンディング型市場調査実施の経緯

当市は、昨年6月に2050年に二酸化炭素排出量をマイナスにする「山縣市カーボンマイナスシティ宣言」を表明し、脱炭素に向けた取り組みを始めました。今年度は、市内の「まちづくり」に貢献し、「持続可能な山縣市」を実現する「山縣市再生可能エネルギー地産地消モデル」について、市内事業者を中心とした山縣市脱炭素協議会において様々な検討を行っています。

その中で、民間事業者のアイデアやノウハウを積極的に活用するために、地域に最大限利益が残るよう地域事業者と連携が取れ、かつ技術的な面での課題を解決できる様々な提案を募集し、直接対話（サウンディング型市場調査）を実施し、概要を公表します。

（参加事業者の知的財産保護の観点から、参加事業者の承諾を得た内容のみを公表）

### 2. サウンディング実施スケジュール

令和4年11月25日 サウンディング型市場調査 実施要領公表

令和5年1月13日 サウンディングの実施

令和5年3月3日 サウンディング結果概要の公表

### 3. サウンディング参加者

7社

### 4. サウンディング実施項目

- ①太陽光発電の設備に関わる提案（パネルの性能、架台の設置方法等）
- ②事業の契約内容や手法（自己託送やPPA事業等）
- ③エネルギーマネジメント手法やシステムの提案（全体の運営手法、蓄電池制御等）
- ④再エネ電力販売手法
- ⑤地域内利益の考え方

## 5. サウンディング結果の概要

対話の実施項目	対話概要
①に関する提案	<p>太陽光発電設備について、以下のように提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧美山町、旧伊自良町、旧高富町の三つの地区ごとに積雪深が 40 センチ～100 センチと異なるため条件に合わせた架台設計時に十分な配慮が必要</li> <li>・ 架台の設置方式については、JIS C8955（太陽電池アレイ用支持物の設計用荷重算出方式）を厳守</li> <li>・ 自家消費 100%のサイトでは、需要量に合わせたパネルの方向を考慮し、午前と午後に分散</li> <li>・ 駐車場にソーラーカーポートによる自家消費、またはオンサイト PPA 型（第三者所有）設置</li> <li>・ ソーラーカーポートと組み合わせた、充電インフラの計画策定</li> <li>・ 太陽光発電を設置する公共施設に蓄電池を併設し、防災レジリエンスの観点から電気自動車、電動自動車等に供給できる設備の導入</li> <li>・ 発注は性能発注方式とし、多面的な提案を受け付ける。</li> </ul>
②に関する提案	<p>PPA 事業について、以下のように提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域ステークホルダーにより形成されたコンソーシアムの構築</li> <li>・ 地産地消を目的とした事業体制の構築</li> <li>・ 公共施設におけるオンサイト PPA</li> <li>・ 再エネ機器に限らず、省エネ機器の販売</li> <li>・ 廃棄物由来燃料（建築廃材チップ、RPF 等）の燃料化、及びエネルギー利用</li> <li>・ 営農型 PPA</li> </ul>
③に関する提案	<p>手法やシステムについて、以下のように提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単相 P C S、三相 P C S、蓄電池での一体でのソリューション提供</li> <li>・ 電力系統への逆潮流を防ぐ負荷追従制御</li> <li>・ 遠隔監視システムの提供</li> <li>・ 第三者計測監視装置による監視・制御</li> <li>・ 公共施設への蓄電池や電気自動車等の充電設備の設置</li> <li>・ AI を用いた住宅エネマネと EV 活用による自家消費率の向上</li> <li>・ 計画値同時同量制度や特定供給事業者の認可などハードルが高い。</li> </ul>
④に関する提案	<p>販売方法や事業体制について、以下のように提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気自動車等への販売</li> <li>・ EV チャージャーのシェアリング</li> </ul>

⑤に関する提案	<p>地域内利益の考え方について、以下のように提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域事業者による事業展開</li> <li>・ 市内企業との協力のもと工事</li> <li>・ 廃プラスチック等産業廃棄物の燃料化施設の設置により、山県市内から近隣地の業者に向け燃料の販売が可能となり、新たな一つの産業となる可能性がある。</li> <li>・ コスト面で PPA 事業者や需要家にとってのメリットが大きいが、長期契約であることから、一般的に需要家は安定した大企業が多い。</li> <li>・ 自立的な資金循環の構築</li> <li>・ 地域内利益の見える化</li> </ul>

#### 6. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、オンサイト、オフサイト PPA、制御システム等のご提案をいただきました。

今後、サウンディング結果を踏まえて、事業方式について整理・検討を進めます。